

「Withコロナ時代における未来アイデア」応募用紙

○応募者

氏名・法人名・団体名	垣地 凜子
(法人・団体の場合)	代表者名： 担当者名：
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）に規定する暴力団をいう。）	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデアの部門を下記から1つ選んで丸（○）を記入してください。	
<input type="radio"/> 未来デザイン部門	<input type="radio"/> 未来テクノロジー部門

アイデア名	紙製サンバイザーでフェイスシールド
-------	-------------------

提案の概要（200字以内）
既存のフェイスシールドは医療用に作られているため、顔から近いものになり、飲食にはあまり向かないと思われる。そのため、顔からの飲食スペースをある程度とることができる、キャップのツバにつけられるようなフェイスシールドをと考えた。更に、そのキャップ部分は、イベントなどに用いる紙製サンバイザーにし、環境に配慮することができ、かつ衛生的に使用できるものが良いと考えた。

提案に当たっての現状・課題・背景 ※様式自由
新型コロナウイルス感染症は、飛沫によって感染リスクが高まると言われており、会食や接待を伴う店での感染が増えつつあるという現状がある。フェイスシールドをつけて飲食するという試みも当初はあったが、つけていると飲食しづらい、顔や頭に密着しすぎて暑くなってしまう、などという理由から、なかなか普及してっていない。けれど、友人や職場の仲間と飲みながら、食べながら会話を楽しむということは人間の大きな喜びであり、飲食店がどんどん経営苦に陥る中、苦しくなく楽しんで感染予防できる方法はないかと考えた。

提案を実施することによる効果、提案の実現可能性や実現に当たっての課題 ※様式自由
上記のような課題が解決でき、飲食店や接待を伴う店を利用するにあたり、楽しみながら不安を軽減して食事や会話ができる。 実現にあたっては、試作したものでどれくらい飛沫が防げるか、装着時の暑さ、飲食のしやすさは如何程かを検証する必要がある。

